



飯能市役所でのひとコマ

飯能市役所収税課 勤務

いちむら みさと
市村美里さん

2017年度心理学部卒業

Profile

新潟県立新井高等学校出身
 2014年 駿河台大学 心理学部に入学
 2018年 飯能市役所に入庁
 収税課にて勤務
 2020年 現在に至る

▶現在の仕事

市役所というと、引っ越しの手続きや住民票の発行などを思い浮かべるかと思いますが、その他にも道路や施設の管理、観光地の宣伝やイベントの開催など、多種多様な業務を行っています。その中でも私は、市民の皆さんが納めた税金を管理する収税課の管理担当に所属しています。管理担当は、納税額の集計や納税証明書の発行、納税通知書に同封するチラシの作成、納税しやすい環境づくりなどを行っています。税金は、納付書で納付する方法だけでなく、口座から引き落とす方法があります。また、最近ではクレジットカードやアプリからの決済ができる電子納税にも対応をしています。このように、収納率の向上のため、納税方法の拡大にも努めています。

▶仕事の魅力とやりがい

私が考える市役所の仕事の魅力は、自分の住んでいる市町村に貢献できることです。飯能市をより良くするためには、もちろん市民の皆さんの力も必要ですが、職員として貢献できることも多いと思います。そういった場面で、市民の皆さんのサポート役として業務を行えることに、とてもやりがいを感じています。また、市役所は先述のとおり、多種多様な業務内容があります。そのため、様々な知識が身につく、いろんな業務でその知識や自分の能力を発揮できる場があることも魅力です。

▶駿河台大学在学中のこと

公務員になろうと思ったきっかけが大学在学中に2つありました。1つ目は、3年次に受けた授業のなかで行った市役所へのインターンシップでした。実際に市役所職員の働く様子を見学することができました。この授業を通して、市役所職員になれば、市民の皆さんと直接関わり、市に貢献できることを知りました。2つ目は、4年間続けたオープンキャンパス学生スタッフでした。学生スタッフとして来場者の皆さんに駿河台大学の魅力が伝わるように活動をしていました。このような活動を経験したおかげで、駿河台大学がある飯能市で働きたいと思うようになりました。さらに、このときの経験は、現在の職場でも役立つことが多いので、とてもよい経験だったと感じています。



在学時、オープンキャンパスでの活動の様子

▶後輩へのメッセージ

私が後輩の皆さんにお伝えしたいことは、「様々なことに挑戦してほしい」ということです。大学生は時間を自由に使える特別な期間だと思います。私はオープンキャンパス学生スタッフやバスケットボール部のマネージャー、インターンシップなどを経験して多くのことを学びました。しかしながら、より多くのことに挑戦すればよかったと後悔することがあります。就職活動で役立つのはもちろんですが、今後の生活にも経験が役立つことは沢山あると思います。アルバイトやサークル、留学や旅行などどんなことでも、やってみたくと思ったらまず挑戦してみてください。結果が重要なこともあるかと思いますが、失敗したとしても、学びは必ずあると思います。ぜひ大学生活を無駄にせず、有意義に過ごしてください。



オープンキャンパス学生スタッフ当時の集合写真